

令和元年11月1日

阿賀野市議会議長 風間輝榮様

総務文教常任委員会委員長 山口功位

所管事務調査報告書

本委員会は、令和元年第3回議会定例会において議決を経た、閉会中の所管事務調査を下記のとおり行ったので、会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事項 通学路点検における危険箇所の状況について
- 2 調査期日 令和元年11月1日(金) 午前9時30分
- 3 調査経過

令和元年11月1日、神田教育長、菅原総務部長、菅井学校教育課長、渡辺管財課長の出席を求めて本委員会を開催し、調査事項について現地調査及び意見集約を行いました。

4 調査結果

平成30年度に主に防犯の観点から行われた、学校、自治会、警察、市の関係者などの合同点検の結果と、毎年4月に実施している通学路点検の今年度の結果を踏まえ、今回は市内2カ所の危険箇所について現地調査を行いました。

1カ所目は窪川原地区阿賀野バイパス予定地の側道、ボックスカルバート付近。今までは国道49号から通学路を見通せていたが、バイパスが完成すると陰になってしまい、人の目が行き届かなくなることが懸念されている場所です。窪川原の子ども達はバイパスに沿って歩くことになり、人気がない上にボックスカルバートが近くにあることから、不審者についても心配されます。市教育委員会では、地元の方、学校とよく相談し、安全な通学路を確保できるよう毎年度検討していきたいとのことでした。

2カ所目は笹岡小学校前の市道山崎次郎丸線。塚田川と並行して通る市道が通学路となっており、幅員が狭く、一部ガードレールがない部分があり危険であると指摘されています。また、金屋線と次郎丸線の合流点に横断歩道設置の要望も出てい

るところです。実際現地へ行ってみると、道幅が狭く、マイクロバスでは対向車とのすれ違いもやっとな状況で、特に冬場や天候の悪い日は危険だと感じました。市教育委員会では毎年建設課経由で新発田の地域振興局へ要望しており、少しずつガードレールの延伸工事が行われているそうです。また、昨年度は薄くなった外側線の塗り直しを実施し、その際 10 センチ車道側のほうに寄せて歩行空間を確保したとのことでした。

点検の結果は道路管理者や警察などに報告し、順次対策が進められているということですが、委員からは山崎次郎丸線のガードレール設置についてもっと強く県に申し入れ、早急に話を進めてほしいとの要望がありました。また、歩道の設置、道路拡幅等の工事をすぐに計画するのが難しいのであれば、通学時間帯にスクールゾーンを車両通行止めにするなどの手立ても必要なのではという意見が出されました。今回現地調査に行くことができなかった所も含め、危険箇所として指摘された場所についてしっかりと検証し、地域の見守り等のご協力もお願いしながら安全な通学路の確保に努めてもらいたいと思います。

以上、総務文教常任委員会の所管事務調査の委員長報告といたします。